

①研究課題名：

JALSG 参加施設において新規に発症した全 AML、全 MDS、全 CMML 症例に対して施行された治療方法と患者側因子が 5 年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究（前向き臨床観察研究）  
－JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS) -17－

② 研究の目的：

急性骨髄白血病（AML）、骨髄異形成症候群（MDS）、慢性骨髄単球白血病（CMML）の方を対象とした疫学研究は多数報告されていますが、AML、MDS、CMLL と診断された全ての患者さんの診療情報が調査されているわけではないため、これらの研究結果が一般臨床では必ずしも当てはまらないことが指摘されています。そのため、AML、MDS、CMLL と診断された全ての患者さんの診療情報を収集することにより、現在の治療法での生存率、行われた治療内容と併存症が治療成績に及ぼす影響を明らかにすることを計画しました。治療成績が明らかになれば、今後の治療方法改善に有用な情報となる可能性があります。

③ 研究期間：西暦 2020年3月～ 2026年 3月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設

- ・研究代表者：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 血液内科 横山寿行
- ・研究実施施設：名古屋市立西部医療センターはじめ特定非営利活動法人成人白血病治療共同研究機構（JALSG）参加施設  
(JALSG ホームページ：<https://www.jalsg.jp/>)

⑤ 研究の対象：

2020年3月から名古屋市立西部医療センター血液・腫瘍内科で AML、MDS 又は CMLL と新たに診断された未治療の 16 歳以上の方

⑥ 調査項目：

- ・基本情報：イニシャル、生年月日、診断時年齢、性別、発症形式、診断名、登録時全身状態、診断日、併存症の有無
- ・診断時検査結果：WHO 分類、血液検査結果（染色体データ、白血球数、ヘモグロビン値、血小板数、総ビリルビン、血清クレアチニン、遺伝子変異の有無、末梢血好中球割合、骨髄芽球比率）、輸血依存性の有無
- ・化学療法に関する情報：治療内容（レジメン名、投与量など）、治療効果、初回寛解日
- ・同種造血幹細胞移植の有無（有りの場合：同種移植の種類、血縁ドナーの有無、日本骨髄バンク登録日、移植日）
- ・予後 など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査して Web でデータセンター（特定非営利活動法人臨床研究支援機構（OSCR）データセンター）へ提供し、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

本研究の結果は、学会発表あるいは論文掲載で公表される予定です。

⑨ 個人情報の保護

この研究では、重複してあなたの情報が提供されることを避けるため、あなたのイニシャル、生年月日が提供されることとなります。しかし、これらの個人情報は解析する際には使用されません。また、あなたの個人情報が学会や論文で公表されることはありません。

この研究に参加したくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

この研究は、JALSGの研究費によって実施します。JALSGはいくつかの製薬企業からの寄付を受けていますが、本研究に関わることはありません。また、本研究の計画・実施・発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1	血液・腫瘍内科	稲垣 淳 TEL : 052-991-8121 (代表)